

特色ある学習について

シカゴ日本人学校中学部は、以下の2点を重点目標に、充実した学習活動を行っています。

- (1) 基礎学力の充実
- (2) 国際理解教育の充実

中学部は、各学年少人数学級であり、落ち着いた学習環境にあります。日本国内から派遣された教員（国、数、英文法、理、社、体、技術）と現地採用の教員（英会話、音楽、美術、家庭科）が授業を担当し、日本国内以上の教育活動を行うべく、年間200日間、1200時間の授業が行われています。教科学習に加え、特徴ある教育活動としては次の点があげられます。

英会話

週3～4時間、アメリカ人教員による英会話の授業が習熟度に応じて実施されます。各学年を2～3クラスに分けるため、きめの細かい指導が受けられます。もちろん、英会話に加えて日本国内における英語（英文法）の授業も、日本からの派遣教員により週3時間行われます。

米国社会

イリノイ州の法律に基づき実施されます。アメリカの地理や歴史、政治経済、文化について学習します。1ヶ月に1回シカゴ生まれで、シカゴ育ちのクリスティー先生による授業があります。多くの資料と具体的な話が聞くことができ本校ならではの有意義な学習です。

交流学習

トーマスミドルスクールと交流します。アメリカの中学生と学び遊ぶことで、英語の力を高めるとともに、国際人としての自覚も持たせています。また、現地の生徒に日本の文化も伝えていきたいと考えています。その他、現地の高等学校との交流も行われています。

職場見学

実際に職場を見学し、アメリカ国内で働いている日本人やアメリカ人の考えなどを聞くキャリア教育で、自分自身を高めていく取り組みです。今年度は「オヘア空港～JAL」（1年生）と現地企業の「キャタピラ社」（2,3年）を訪問して、働く意義や生き方について学びます。

補習

現地校からの転入生に対応すべく、補習を実施します。現地校に通学していた生徒は、特に社会科と理科において、学習がほとんど進んでいない現状があります。そこで、遅れを取り戻すべく補習授業を実施します。また、3年生は、帰国して受験をする生徒が多い現状から受験に直結するような過去の問題などに取り組みます。